

10月21日

テーマ：「もう一人の助け主」

聖書箇所：ヨハネの福音書14章16節

◆今日のみことば

わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。

ヨハネの福音書 14章16節

◆メッセージ

皆さんは、お引越など誰かとお別れをして、寂しい気持ちになったことがありますか？そんな時に、最後にお手紙を渡すとしたら、心をこめて書くとおもう。イエスさまも、もうすぐ弟子たちとお別れをしなくてはなりません。イエスさまと弟子たちは、寝るとき、起きるとき、食事のとき、いつも一緒でした。イエスさまはその弟子たちにどうしても伝えておきたいことがありました。それはこんな言葉でした。「わたしはもうすぐいかななくてはならないけれど、父なる神さまは、もうひとりの助け主をあなたたちに必ず与えてくれます。」弟子たちはきっと思ったことでしょう。「もうひとりの助け主って、どんなお方なのかなあ…？」

「もうひとりの助け主」とは、聖霊なる神さまのことで、「真理の御霊」（ヨハネ14:17）とも言われます。真理とは、人生で知るべき一番大事なことです。お金持ちになるより、有名になるより、その真理を知ることがずっと大事です。その真理というのは神さまのことで、聖霊なる神さまは、私たちに神さまのことを深く教えてくれ、神さまを信じる心を与えてくれ、罪を悔い改める心や人を愛する心を与えてくれます。そうやって、いつも一緒にいて助けてくださるのです。



イエスさまは、聖霊なる神さまのことを「風」にたとえて教えてくださいました。風は目に見えず、どこから来て、どこへ行くのか分かりませんが、吹けば草木は音を立て、湖は漣を立て、確かに風があるのが分かります。聖霊なる神さまも目には見えませんが、イエスさまを信じる私たちの心の中に本当に住んでくださっているのです。その聖霊なる神さまを通して、イエスさまも、そして父なる神さまも、いつも私たちと一緒にいてくださいます。イエスさまと弟子たちは、本当はお別れではなかったのです。「その方はあなたがたとともに住み、あなたがたのうちにおられるからです。わたしは、あなたがたを捨てて孤児にはしません。」（ヨハネ14:17～18）嬉しいですね。

◆お祈り

「いつも、どんなときも、父なる神さま、イエスさま、そして、聖霊なる神さまが一緒にいてくださって、助けてくださることを感謝します。」

（新発田キリスト教会牧師 本間羊一）